

世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に36社の連結子会社を有しています。(2017年3月末現在)

拠点紹介



Token Interior & Design Co., Ltd. (トーケン インテリア&デザイン)

大気社タイランドは1971年に設立され、大気社の海外拠点として最も古い歴史を誇ります。1986年には事業領域の拡大策として、内装事業を手掛ける合併会社トーケン インテリア&デザイン社を設立しました。同社は徹底した品質管理体制

やジャパンクオリティの家具、店舗什器建具の提供を強みとし、日系企業のみならず、現地企業からも多くの支持を得ています。近年はミャンマーにも事業所を設立し、今後はタイをハブとした近隣諸国への展開を推進していきます。

FOCUS

1990年、トーケン インテリア&デザインは、紀伊國屋書店のタイ初出店に伴う内装工事を担当しました。このプロジェクトでの実績が評価され、その後バンコク市内に出店した2店舗についても、家具・什器・照明を含めたすべての内装工事を受注することができました。今回施工した新店舗はバンコク最新のショッピングセンター・エムクオーティエにある大型店舗で、シンガポールの建築家によるオリジナリティあふれるデザインを、チーク材をふんだんに用いて忠実に再現しています。今後も



 株式会社 大気社

〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195
<http://www.taikisha.co.jp>



株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は大気社の海外拠点があるタイの世界遺産、カオヤイ森林地帯です。
タイの拠点については、裏表紙をご覧ください。

第72期

株主通信

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第72期の事業年度(2016年4月から2017年3月まで)を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

芝 利 昭



当期の事業環境はいかがでしたか。



当期の世界経済を振り返ると、米国では雇用・所得環境の改善や個人消費の増加などを背景に緩やかな拡大基調となり、欧州でも堅調な個人消費によって緩やかな回復基調が続きました。アジアに関しては、総じて底堅く推移しており、中国においても成長率の減速傾向からの持ち直しが見られました。日本では輸出、鉱工業生産、個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が続いています。



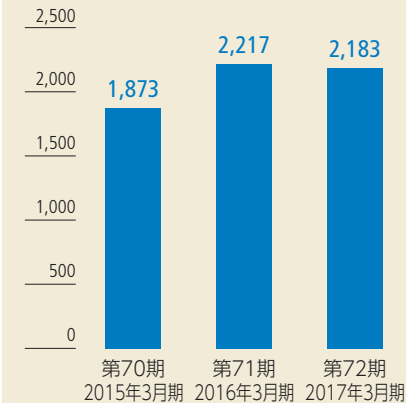
当期の業績についてお聞かせ下さい。



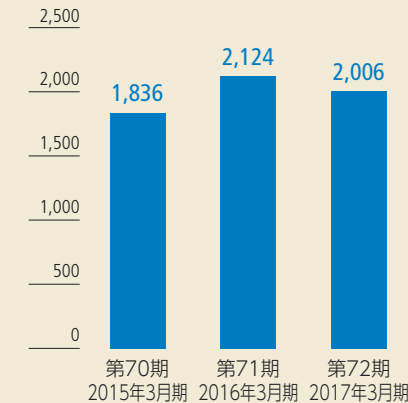
当社グループにおける当期の受注工事高は、北米や国内において増加したものの、中国やインドネシアなどで減少したことにより、2,183億23百万円(前期比1.6%減少)となり、うち海外の受注工事高は、1,100億50百万円(前期比8.6%減少)となりました。

業績ハイライト

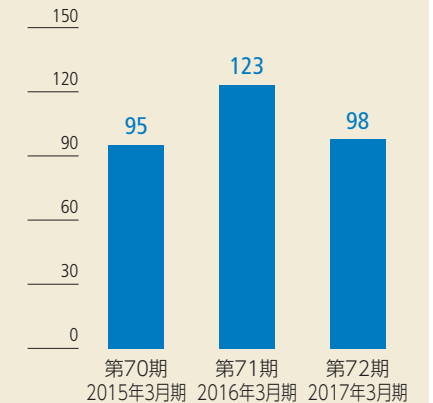
● 受注工事高 (単位:億円)



● 完成工事高 (単位:億円)



● 経常利益 (単位:億円)



完成工事高は、北米や国内で増加しましたが、タイやブラジルなどで減少したことにより、2,006億4百万円(前期比5.6%減少)となり、うち海外の完成工事高は、988億20百万円(前期比16.2%減少)となりました。

利益面については、完成工事高が前期比で118億20百万円減少したことや、米国での塗装システム事業のプロジェットの採算悪化などにより、完成工事総利益は281億57百万円(前期比44億13百万円減少)、営業利益は84億73百万円(前期比42億61百万円減少)、経常利益は98億42百万円(前期比25億1百万円減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は63億5百万円(前期比7億79百万円減少)となりました。



事業方針について説明をお願いいたします。



当社は社は「顧客第一」のもと、「エネルギー・空気・水」にかかわる環境対応技術を核として、社会のニーズや市場環境の変化に柔軟・迅速に対応し、安定的かつ持続的な成長を図ってまいります。

すべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



環境システム事業部

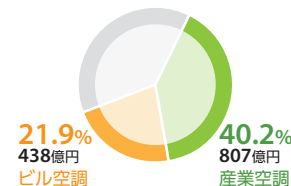
経営資源の優先配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

産業空調分野では、為替の動向の先行き不透明感が投資判断を消極化させる懸念があるものの、スマートフォンの高機能化による電子部品の需要拡大などに伴い、関連企業の設備投資が増加すると見込んでいます。ビル空調分野では、首都圏の再開発におけるオフィスの新築投資が期待されます。長期的には既存ビルを更新するリニューアル市場の比率が高まると予想しています。

今後の取り組みとしては、投資が伸びる分野や市場を見定め、迅速な対応と経営資源の優先的な配分を行うとともに、需要の増大が予想されるメンテナンス・リニューアル物件についても、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、海外市場においては日系のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくりを行います。

● 環境システム事業部売上高
累計期間：2016.4.1～2017.3.31



Green Technology System Division

旧ダイエー碑文谷店
耐震・リノベーション工事が完了

2017年3月末、東京都目黒区の旧ダイエー碑文谷店の耐震補強・リノベーション工事が完了しました。当社は空調・衛生設備を請け負っています。1975年の竣工以来、地域のランドマークとして親しまれた建物は、「イオンスタイル碑文谷」として生まれ変わりました。新しい施設は、多彩なライフスタイルを提案する商業施設として注目を集めています。



塗装システム事業部

経営資源の優先配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

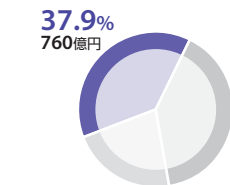
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

自動車塗装分野では、自動車販売が好調な中国・インドや、設備更新需要が増大する見通しのアメリカにおいて、投資の拡大が期待されます。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる市場に対して経営資源を優先的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携により、非日系自動車メーカーからの受注拡大や、航空機・鉄道車両・船舶など自動車以外の塗装設備事業、コンベヤシステムなど、周辺領域への事業拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部売上高
累計期間：2016.4.1～2017.3.31



Paint Finishing System Division

中国にて广汽フィアットの新工場が竣工

2016年9月、中国において、広州汽車集団有限公司とフィアット・クライスラー・オートモービルズの合併会社である广汽フィアット・クライスラーの新工場が竣工しました。当社は塗装工場の排気処理設備と乾燥炉を施工しました。この新工場は既存工場に比べ、環境負荷やランニングコストのさらなる低減と省スペース化を実現しています。



室外機のユニット工法 — 現場における労務軽減への取り組み —



室外機ユニットの揚重作業

現在の建築業界では、技能労働者の高齢化と人手不足が常態化しており、現場での労務軽減が大きな課題となっています。こうした問題への取り組みとして、当社は東京・千代田区のオフィスビル「日比谷パークフロント」の施工現場において、室外機回りの施工でユニット工法を計画しました。

この工法は、通常クレーンで一台ずつ屋上に揚重する室外機や動力盤および付随する配管・配線を、あらかじめ工場で一つのユニットとして組み上げて搬入するのが特長で、現場作業を軽減することができます。

今回、10メートル超のユニットに挑戦した結果、揚重回数や現場作業量の低減をはじめ、工期短縮や労務軽減、安全対策が実現しました。

この取り組みは受注先である鹿島建設にも認められ、同社主催の「協力会社改善事例全国大会」で優秀賞を受賞しています。

コストパフォーマンスに優れた、2液混合塗装システムを開発

エネルギー消費量の削減や燃費向上など、近年、自動車業界では、環境への対応が最重要課題となっています。特にバンパーなどの外装パーツについては、樹脂を含んだ複合材の導入が進んでおり、車体を軽量化することで燃費を向上させています。

この複合材パーツの塗装工程には、主剤（塗料）と硬化剤を一定の比率で混ぜ合わせ、化学反応によって塗膜を硬化させる2液型塗料が不可欠です。



今回当社が開発したシステムは、塗料の混合に用いられるシリンジポンプ（※1）の駆動にサーボモータ（※2）を採用しています。これにより混合比率精度が向上し、塗料廃棄損失が低減されたことで、優れたコストパフォーマンスを実現しました。

本システムは、海外における自動車バンパー塗装ライン建設プロジェクトへの導入が決定しており、今後さらなる受注が見込まれます。同じく2液型塗料を用いる航空機や鉄道車両の分野についても、現在は手動で行われる塗装作業の将来的な自動化を見据え、活動を展開していきます。当社は今後も市場のニーズにタイムリーに対応した製品の開発を進めていきます。

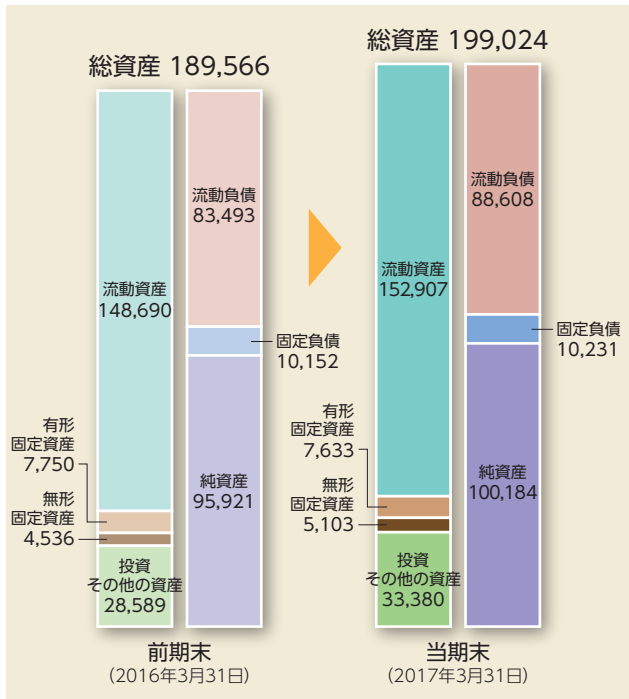
（※1）シリンジポンプ：注射器型のポンプ

（※2）サーボモータ：回転速度、停止位置などを正確に制御できるモータ

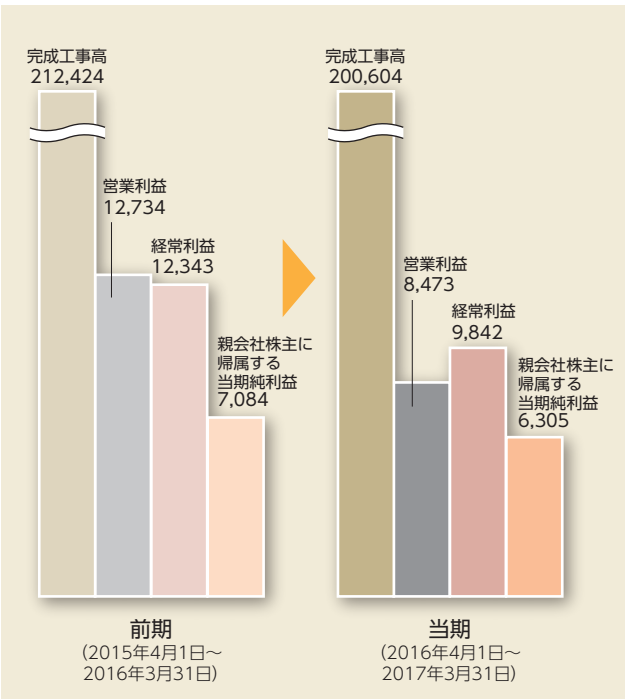


連結財務諸表

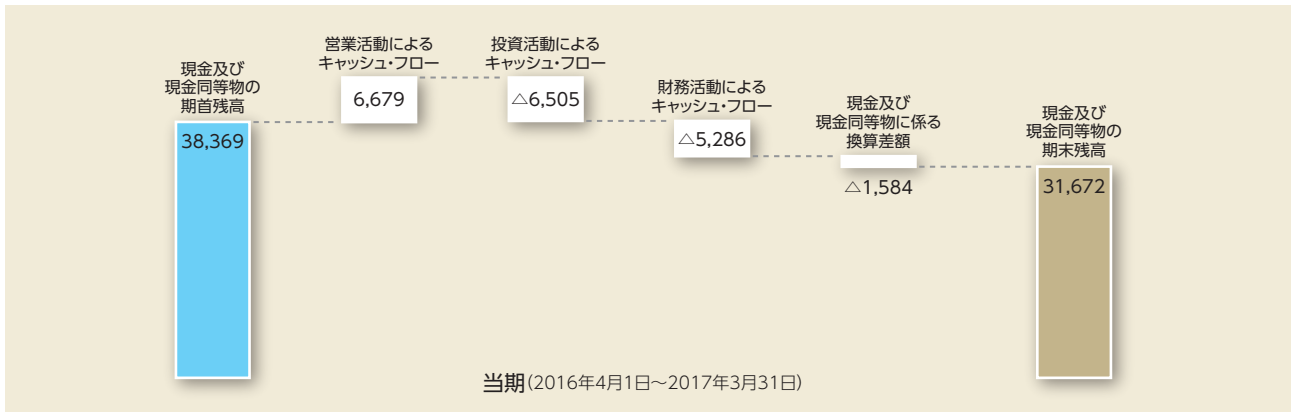
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



株主情報



会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)
創業 1913年4月10日
設立 1949年7月7日
資本金 6,455百万円
従業員数 (連結) 4,702名 (個別) 1,446名
グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。
【グループ企業】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>
トップページ > 企業情報 > グループ企業
【取締役および監査役】
<http://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>
トップページ > 企業情報 > 役員紹介
【株式情報】
<http://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>
トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座のみずほ信託銀行株式会社
口座管理機関
事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式の総数 36,782,009株
株主数 3,235名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,859	8.4
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	2,262	6.6
株式会社建材社	1,730	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,569	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,415	4.1
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,077	3.2
大気社協力会社持株会	1,034	3.0
株式会社第二建材社	1,000	2.9
大気社社員持株会	872	2.6
日本生命保険相互会社	866	2.5

(注) 1.当社は、自己株式2,575,841株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3.「持株数」は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況 (株式数比率)

